

# 平成22年度 事業計画書

## 1. 共済目的の種類別の概数、引受実績及び計画

区 分		区域内の概数 (A)	前年度引受実績	本年度 引受計画 (B)	本年度 予定引受率 (B)/(A)
組 合 員 数		14,600 人	14,135 人	14,050 人	96.2 %
農作物共済	水 稻	658,900 a	643,655 a	652,740 a	99.1 %
	麦	3,370 a	1,754 a	2,100 a	62.3 %
家畜共済	成 乳 牛	3,834 頭	2,840 頭	2,760 頭	72.0 %
	育 成 乳 牛	215 頭	210 頭	180 頭	83.7 %
	乳 用 子 牛 等	3,097 頭	1,406 頭	1,450 頭	46.8 %
	肥 育 成 牛	1,411 頭	1,410 頭	1,500 頭	106.3 %
	肥 育 子 牛	130 頭	49 頭	110 頭	84.6 %
	他 肉 成 牛	3,291 頭	3,282 頭	2,995 頭	91.0 %
	他 肉 子 牛 等	3,067 頭	3,430 頭	3,174 頭	103.5 %
	種 豚	490 頭	403 頭	400 頭	81.6 %
	肉 豚	4,272 頭	2,950 頭	3,200 頭	74.9 %

区 分		区 域 内 の 概 数 (A)	前 年 度 引 受 実 績	本 年 度 引 受 計 画 (B)	本 年 度 引 受 率 (B)/(A)	
果 樹 共 済	な し	1,900 a	809 a	810 a	42.6 %	
	り ん ご	6,000 a	3,032 a	3,100 a	51.7 %	
	ぶ ど う	6,700 a	1,315 a	1,500 a	22.4 %	
畑 作 物 共 済	大 豆	14,900 a	6,152 a	6,140 a	41.2 %	
園 芸 施 設 共 済	ガ ラ ス 室 II類	1 棟	0 棟	1 棟	100.0 %	
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス II類	1,702 棟	1,117 棟	1,249 棟	73.4 %	
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス III類	8 棟	4 棟	4 棟	50.0 %	
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス IV類	甲	10 棟	9 棟	10 棟	100.0 %
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス V類	25 棟	15 棟	16 棟	64.0 %	
	プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス VI類	647 棟	178 棟	215 棟	33.2 %	
任 意 共 済	建 物	39,500 棟	27,130 棟	27,510 棟	69.6 %	
	農 機 具	28,055 台	2,751 台	2,930 台	10.4 %	
	農 機 具 更 新		3 台	1 台		

## 2. 農業共済事業の規模

### ア. 農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設共済事業の規模

項目		引 受		共済金額	保険金額	共 済 掛 金			保険料又は交付金		手 持 共 済 掛 金
		本年度予定	前年度実績			総 額 (A) + (B)	国庫負担額 (A)	農家負担額 (B)	(保険料)	(交付金)	
農作物	水 稲	652,740 a 23,383,460 kg	643,655 a 23,065,424 kg	千円 4,910,181	千円 4,840,188	千円 63,198	千円 31,599	千円 31,599	千円 11	千円 137	千円 31,725
	麦	2,100 a 39,621 kg	1,754 a 32,367 kg	2,613	2,496	192	102	90		58	148
	計	654,840 a 23,423,081 kg	645,409 a 23,097,791 kg	4,912,794	4,842,684	63,390	31,701	31,689	交 184		31,873
家畜	成 乳 牛	2,760 頭	2,840 頭	596,931	477,545	127,117	59,380	67,737	62,059	52,225	15,512
	育 成 乳 牛	180 頭	210 頭	13,849	11,079	717	345	372	319	293	79
	乳 用 子 牛 等	1,450 頭	1,406 頭	23,030	18,424	4,538	2,223	2,315	2,672	1,647	668
	肥 育 牛 成 牛	1,500 頭	1,410 頭	183,160	146,528	5,313	2,565	2,748	2,786	2,053	695
	肥 育 用 子 牛	110 頭	49 頭	9,340	7,472	1,496	743	753	756	564	189
	その他肉用成牛	2,995 頭	3,282 頭	743,340	594,672	37,182	15,989	21,193	10,719	18,517	2,676
	その他の肉用子牛等	3,174 頭	3,430 頭	245,210	196,168	25,016	12,017	12,999	10,795	10,303	2,696
	種 豚	400 頭	403 頭	15,200	12,160	1,323	529	794	1,058	529	265
	肉 豚	3,200 頭	2,950 頭	17,920	14,336	2,868	1,147	1,721	2,294	1,147	574
計	15,769 頭	15,980 頭	1,847,980	1,478,384	205,570	94,938	110,632	保 93,458		23,354	

項目 共済目的	引 受		共 済 金 額	保 険 金 額	共 済 掛 金			保 険 料 又 は 交 付 金		手 持 共 済 掛 金	
	本 年 度 予 定	前 年 度 実 績			総 額 (A) + (B)	国 庫 負 担 額 (A)	農 家 負 担 額 (B)	(保 険 料)	(交 付 金)		
千円											
果 樹	なし	810 a	809 a	26,086	24,854	1,117	558	559	365		194
	りんご	3,100 a	3,032 a	198,520	189,578	11,794	5,897	5,897	4,681		1,216
	ぶどう	1,500 a	1,315 a	150,678	143,666	4,709	2,354	2,355	1,350		1,005
	計	5,410 a	5,156 a	375,284	358,098	17,620	8,809	8,811	(保) 6,396		2,415
畑 作物	大豆	6,140 a	6,152 a	7,982	7,186	720	396	324	(保) 257		67
園 芸 施 設	ガラス室Ⅱ類	1棟	0棟	1,093	983	2	1	1	1		0
	プラスチック ハウスⅡ類	1,249棟	1,117棟	306,005	275,404	12,396	6,198	6,198	4,958		1,240
	プラスチック ハウスⅢ類	4棟	4棟	5,112	4,600	115	57	58	46		12
	プラスチック ハウスⅣ類	甲 10棟	9棟	7,590	6,831	177	88	89	71		18
	プラスチック ハウスⅤ類	16棟	15棟	144,160	129,744	689	200	489	391		98
	プラスチック ハウスⅥ類	215棟	178棟	27,090	24,381	1,112	556	556	445		111
	計	1,495棟	1,323棟	491,050	441,943	14,491	7,100	7,391	(保) 5,912		1,479
合 計				7,635,090	7,128,295	301,791	142,944	158,847	(保) 105,839		59,188

イ. 任意共済事業の規模

区 分		引 受		共 済 金 額	保 険 金 額	共 済 掛 金 ・ 賦 課 金			
		本 年 度 予 定	前 年 度 実 績			総 額 (A) + (B)	共 済 掛 金 (A)	事 務 費 賦 課 金 (B)	
								組 合 分	連 合 会 分
				千円	千円	千円	千円	千円	千円
建 物	火 災 共 済	22,475 棟	22,179 棟	260,700,000	260,700,000	213,553	117,454	75,918	20,181
	総 合 共 済	5,035 棟	4,951 棟	28,200,000	28,200,000	74,243	48,629	20,235	5,379
	計	27,510 棟	27,130 棟	288,900,000	288,900,000	287,796	166,083	96,153	25,560
農機具損害共済		2,930 台	2,751 台	4,638,000	4,638,000	20,543	13,339	5,207	1,997
農機具更新共済		1 台	3 台	2,900	2,900	363	354	5	4
合 計				293,540,900	293,540,900	308,702	179,776	101,365	27,561

### 3. 引受計画と実施方策

#### ア. 農作物共済

(水稻) 一筆・半相殺・全相殺・品質の各方式の制度説明を十分に果たせる内容を、広報紙等や共済委員会議を通じて啓発し周知に努める。

法人・生産組織の動向を把握し、水田農業推進協議会と連携し戸別所得補償モデル対策を推進し水稻作付耕地を把握し、引受拡大を図る。

(麦) 各関係機関と連携し地域営農の実態を把握し、農業生産団体へ出向き水田農業経営所得安定対策の関連と全相殺方式及び、災害収入方式の制度説明に努め、引受拡大を図る。

#### イ. 家畜共済

有資格頭数の全頭引き受けをするため、家畜診療所等、関係機関と連携して推進する。

#### ウ. 果樹共済

生産組織及び生産農家へ出向き、新たに共済目的に追加した「ぶどう」の災害収入共済方式の推進に重点を置き園地台帳の整備を図り、制度の理解を求め普及推進に努める。

#### エ. 畑作物共済

関係機関と連携をとり、水田農業経営所得安定対策との関連を周知し加入推進を行うとともに、現地確認により、適格耕地を調査して適正な基準収穫量の設定を行い、引受拡大に努める。

#### オ. 園芸施設共済

有資格台帳を基に地区担当職員と同行し未加入農家への集中加入推進を行う。特に新規就農者へ制度の周知・普及と定着を図り農家の経営安定に寄与する。

#### カ. 任意共済

(建物共済) 共済委員会議で予約加入取りまとめを依頼し、早期推進を図り、所有物件の全て及び家財家具の加入推進により、補償拡大をめざし、目標達成をする。

(農機具共済) 農業法人等の大規模農家へ制度の普及・啓発をして、引受拡大に努め補償の充実をめざす。

#### 4. 損害評価の適正化の方策

##### ア. 農作物共済

損害評価の適否がNOSA I制度に大きく影響することから、管内の見回り調査により被害状況を的確に把握し、適正な班編成を図り現地評価研修を重ね、評価技術の向上と評価眼の統一を図り公平かつ適正な損害評価に努める。

##### イ. 家畜共済

家畜の評価基準価額の適正化、病傷事故審査の適正実施、廃用認定等の確認及び残存物価格評価、特定事故の現地評価の適正化に努める。

##### ウ. 果樹共済

農家の被害申告を基に、関係機関の協力を得、被害状況の把握を行い公平かつ適正な損害評価を行う。

##### エ. 畑作物共済

現地の見回り調査を行い、被害状況の把握を行い適正な損害評価を行う。

##### オ. 園芸施設共済

風水害など、事故発生に迅速な評価体制を整備し現地の見回り調査を行い、被害状況の把握を行い適正な損害評価を行う。

#### 5. 損害防止事業の実施方策

##### ア. 農作物・畑作物・果樹共済

野猪等の被害対策のため、電気牧柵等の設置に対し資材費の一部を助成する。

獣害対策用冊子の配布により、設置の指導と防護対策情報を提供する。また、防護網の斡旋を行う。

##### イ. 家畜共済

###### (1) 特定損害防止事業の実施

家畜診療所と連携して、繁殖障害、周産期疾病、尿石症等の検査・指導を実施し、事故の低減を図る。

###### (2) 一般損害防止事業の実施

繁殖障害検診等を毎月1～2回、地域ごとに実施する。また、畜舎消毒、削蹄を行い、事故低減に対する意識の向上を図る。

また、連合会家畜診療所が実施する家畜共済事故低減指導事業に係る農家負担経費の助成をする。

##### ウ. 園芸施設共済

風水害など気象情報に注意して、情報提供と損害防止の指導をする。

## 6. 執行体制の整備

### ア. 事務執行体制の整備方法

- (1) 理事会を年4回以上開催し、組合運営、事業推進等について検討協議し、組合の適正運営とコンプライアンスを遵守し、事業計画の達成を図る。
- (2) 監事会は年2回以上開催し、監査実施計画を決定し中間監査と決算監査を行い、必要に応じ臨時監査を行い、事業運営の適正化を図る。

### イ. NOSAI部長及び共済委員の職務

NOSAI部長49名及び共済委員1,320名を委嘱して、組合員との連絡、加入取りまとめと掛金徴収等の業務に協力を得、研修会等を開催し基礎組織の機能強化に取り組み、組合運営の円滑化と各事業推進を図る。

### ウ. 職制及び職員の配置計画

参事1名、総務課6名、企画管理課4名、第1事業課11名、第2事業課15名、合計37名を置く。

又、地区担当を定め、NOSAI部長、共済委員、組合員との連絡の任務にあたる。

## 7. 予算統制の方策

事業計画の完遂を期し業務収入の確保に努め、各課内で自主統制による経費節減を徹底するとともに、業務支出は予算との調整をはかり、充分検討し更なる組合運営の健全化に努める。